好酸球性多発血管炎性肉芽腫症に対する診療を受けた患者の皆様、ご家族の皆様へ

２０２６年８月５日

アレルギー・膠原病内科

千葉大学医学部附属病院アレルギー・膠原病内科では、「IL-5 を標的とした生物学的製剤使用下の好酸球性多発血管炎性肉芽腫症患者における、寛解維持期の末梢血中好酸球数と予後との関連解析」という研究を行っており、以下に示す方の診療情報を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

２０１６年３月１日～２０２６年６月１５日の間に当院において好酸球性多発血管炎性肉芽腫症に対して診療を受けた方

１．研究課題名

「IL-5 を標的とした生物学的製剤使用下の好酸球性多発血管炎性肉芽腫症患者における、寛解維持期の末梢血中好酸球数と予後との関連解析」

２．研究期間

２０２６年承認日～２０２７年３月３１日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

３．研究の目的・方法

好酸球性多発血管炎性肉芽腫症(EGPA)は、気管支喘息やアレルギー性鼻炎を持つ人に多く見られ、白血球の一種である好酸球が異常に増加して、全身の細い血管に炎症(血管炎)を起こすことで、様々な臓器に障害を生じる全身性の自己免疫疾患です。

最近は、この病気に関係する仕組み(インターロイキン-5の働き)を抑える新しい薬(生物学的製剤)が使えるようになり、昔より治療は進歩してきました。一方で、どの治療がより適しているか、また血液中の好酸球数がどのように予後と関わるか、などまだわか

っていないことも多いです。本研究では、EGPA の患者さんの過去の診療記録や検査結果をもとに、使用している薬剤や、血液中の好酸球の数と、その後の経過(再燃の有無など)などの情報を収集・分析することで、今後の診療に役立てることを目的としています。

４．研究に用いる情報の種類

診療録に記載されている生年月、年齢、性別、治療薬の種類や治療を受けた日、血液検査、治療経過など

５．研究組織（情報を利用する者の範囲）

研究代表機関名	研究代表者
千葉大学医学部附属病院	古田 俊介
共同研究機関名	研究責任者
別紙参照	別紙参照

６．個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院アレルギー・膠原病内科において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

（URL：http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html）

７．研究に関する相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口に遠慮なくお申し出ください。

相談窓口
〒２６０－８６７７
千葉県千葉市中央区亥鼻１－８－１
千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）
アレルギー膠原病内科　医員　亀田 脩平
０４３（２２２）７１７１　内線５５３１

別紙

共同研究施設一覧

共同研究機関名	研究責任者（所属・氏名）
千葉市立青葉病院	リウマチ科 熊谷 崇
千葉労災病院	アレルギー・膠原病内科 玉地 智宏
成田赤十字病院	リウマチ・アレルギー内科 平栗 雅樹
下志津病院	リウマチ科 杉本 豊彦
千葉医療センター千葉東病院	リウマチ・アレルギー科 大矢 佳寛
山梨大学医学部附属病院	リウマチ膠原病内科 中込 大樹
横浜労災病院	リウマチ科・膠原病内科 藤原 道雄
埼玉医科大学総合医療センター	リウマチ・膠原病内科 倉沢 隆彦
千葉県済生会習志野病院	リウマチ膠原病アレルギー科 髙橋 成和
聖路加国際病院	Immuno-Rheumatology Center 田巻 弘道
大阪大学医学部附属病院	免疫内科 西出 真之
長崎大学病院	リウマチ・膠原病内科 福井 翔一
国際医療福祉大学成田病院	アレルギー・膠原病内科 廣瀬 晃一
大阪公立大学医学部附属病院	膠原病・リウマチ内科 橋本　求